

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		決勝トーナメント(1回戦)			
日時	平成15年8月 23日 (土)		9:30 ~		
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Cコート	第1試合	
結果	東海大翔洋 (静岡)	6 - 25	44	塚口 (兵庫)	
		19 - 4			
		8 - 7			
		8 - 8			
主審	中原 淳子 (岡山)		副審	井 志穂 (北海道)	

【個人トータル表】

東海大翔洋(静岡)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	本間 香葉子	15	0	7	1	2
5	菊地 有	5	0	2	1	2
6	鈴木 萌水	4	0	1	2	1
7	古井 枝里	2	0	0	2	1
8	渡辺 未来	6	0	2	2	2
9	松下 文香	5	1	1	0	0
10	栗田 紗織					
11	吉田 あすか					
12	竹内 春香					
13	山下 一菜					
14	久保田真梨子	4	0	2	0	0
15	長田 紗季					
16	山梨 瑞穂					
17	外村 悠貴					
18	青木 紀江					
合計		41	1	15	8	8

塚口(兵庫)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	田口 嘩奈	3	1	0	0	2
5	豊永 結					
6	藤崎 宏美					
7	山下 朋美	10	0	5	0	0
8	中嶋 愛	4	0	2	0	5
9	金澤 友里					
10	木村 巴美					
11	田中 友美	14	4	1	0	2
12	新原 麻央					
13	荷出 紗也	13	2	3	1	1
14	白井 るみ	0	0	0	0	0
15	高木 歩幸					
16	山本 茉莉子					
17	高嶺 なぎさ					
18	荷出 芙巳代					
合計		44	7	11	1	10

【戦評】

予選Jブロックで北星学園と五日市を破り1位の東海大付属翔洋と、Mブロックで高島に勝ったものの深江と接戦の未破れ2位で進出した塚口の対戦。
 先手をとったのは塚口#11田中の3P。#4田口の連続3P。その後も#11田中、#13荷出と連続で決まり、12-0となったところで翔洋たまずタイムアウト。その後も塚口の2年生コンビが内外と高い確率でシュートを決めるのに対し、翔洋は攻防共にリズムをつかめず25-6で1クォーター終了。
 2クォーターになり、動きの良くなってきた翔洋に対し塚口の動きが止まりだした。翔洋#4本間のリバウンドシュート等の連続得点で、残り1分には29-23と6点差に迫る。翔洋は速いパスワークと粘り強くリバウンドを頑張った点が好結果につながり、29-25と塚口4点リードで前半を終了する。
 3クォーター、両チームとも前半同様マンツーマンで守りを固める。前半終盤の勢いが残る翔洋は#8渡辺がフリースロー2本、ゴール下を決め29-29の同点とする。両チーム共に主導権を握るべくディフェンスに力が入り、シュートするものの決まらず我慢の展開となり、36-33と塚口リードで終わる。
 4クォーター、塚口#7山下が決め38-33。速い展開となるものの単発にシュートが決まる程度で、残り3分に翔洋#9松下の3Pで41-37、#14久保田のシュートで41-39と1ゴール差となる。一進一退の攻防となり、塚口#7山下が決め43-39となったところで翔洋2つ目のタイムアウト。その後、翔洋#6鈴木が決め43-41。激しい展開となり塚口#13がフリースローを決め44-41。翔洋も3Pを狙いシュートを放つも決まらずにブザーとなる。翔洋にとっては1クォーターの点差が悔やまれるが、最後まで諦めずにボールを追う姿には心から拍手をおくりたい。両チームともさわやかな姿が随所で見られた好ゲームであった。

桂 和路(札幌陵北)

【トーナメント戦績】

